

名古屋丸の内ロータリークラブ
Nagoya Marunouchi Rotary Club
Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル
(TEL : 052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分
クラブ会報広報委員長：黒田 覇太郎
HP : <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2023-24年度 R.I. テーマ
会長：ゴードン R. マッキナリー

Rotary
Club of Nagoya Marunouchi



世界に希望を生み出そう

承認
会長
幹事
事務局

1995.03.28
松尾 雄二郎
今村 昌根
名古屋クレストンホテル
1007号
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

松尾 雄二郎 会長 年度目標 : 親睦、親睦、そして親睦、楽しんで 30周年につなげましょう

第1253回 例会 No. 29 令和6年 4月18日(木)

創立記念夜間例会 18:30~於: 浩養園

- ロータリーソング
- 出席報告 会員46名中 27名出席
- 出席率 62.79% 出席計算人数43名
- ゲスト 会員ご家族 2名
米山奨学生 キムジウォンさん

※創立記念日は3月9日なので期初の予定では3月に開催でしたが、岡山丸の内 RC との交流例会が重なったため延期されました。

会長挨拶

松尾 雄二郎



新しくお迎えした米山奨学生のキムジウォン(韓国)さんと。

入会5ヶ年表彰

2月に入会5ヶ年を迎えられた木村豪宏さんに、松尾会長より記念のルビー入り会員章を贈呈いたしました。



次回の例会予定

5月9日(木)「青少年奉仕月間卓話」RA 大坪和樹さん

第1252回 例会 No. 28 令和6年 4月11日(木)

■ロータリーソング 「我等の生業」「四つのテスト」
 ■出席報告 会員46名中 21名出席
 ■出席率 50.00% 出席計算人数42名
 ■スピーカー 岩田 宏さん、森田正樹さん

会長挨拶

松尾 雄二郎

皆様、こんにちは。先週のジョセフピューリッツァの紹介に味をしめまして、本当は3時間位学んだ方なので、もっと深いのですが、今週は、超短いところで。



「目から鼻に抜ける」聞いたことありますね。

どんな意味かわかるような、わからないような言葉で、子供たちに聞くと、辛いものを食べたみたいなお話が出てくる位です。これは、とてつもなく賢いもの抜け目のないものを形容する言葉で、起源は奈良の大仏建立時のことです。

鑄造した目を入れ忘れて、足場も何もなくなった状態で、いろいろやり直すのかと。そんな親方衆のみんなが途方に暮れているシーンで、1人の若者が目玉板を担いで、天井に回り、するすると頭から目に入って中側からはめて、そのあとどうするのかと思ったら、鼻から出てきたってのを2回繰り返して、拍手大喝采、窮地を救った手際を見ての言葉とされています。諸説あります。

本日の卓話は、まさに目から鼻に抜ける岩田先生にお願いしていますので、今日も1日よろしくお祈りします。

ニコBOX

●本日は会員卓話です。岩田 宏さん、森田正樹さんにお話しいただきます。よろしくお祈りいたします。

松尾会長、今村幹事、藤田、八木、河原、堀江亮介、西川、加藤、山崎光代、後藤、小野、恵利、森田、水野、長谷川、高坂（敬称略）

岩田さん 本日卓話します。よろしくお祈りします。

本日合計 36,000 円

マルチプルポールハリスフェロー表彰

マルチプルポールハリスフェロー（4）の表彰記念品を、松尾会長より森田正樹さんに伝達いたしました。

ご協力ありがとうございます。

※個人のロータリー財団寄付額累計が1000ドルに達成すると、ポールハリスフェローとして表彰され、累計額が2000ドルに達成するとマルチプルポールハリス（1）として表彰されます。以降1000ドル毎に表彰されます。1万ドルに達成するとメジャードナー（レベル1）として表彰されます。



会員卓話

岩田 宏



卓話をさせていただきます。

皆さんコロナはどうなのかご存知ですか。今あまり話題になってないですが、実は年明けぐらいに一発波が来ました。第10波というのかな。ただ、重症化して入院する人もあまりいないし、亡くなる方はいないということで、話題にはなりません。

皆さんワクチンは打たれましたか。一応国の補助で打てる方は最高6回まで打てるはずなんですが、統計上はワクチン3回以上打たれた方で、死亡者はいない。3回以下の方は死亡者がいるということです。

ワクチンの定期接種は、3月末までで、政府の補助によるワクチン接種は終了になっています。

ですので皆さん6回打った方はもうないと思うんですが、5回までの方はまだ接種券というのをお持ちになっていると思います。でも、もうそれを持っていても無料では打っていただけません。有料になっています。

4月以降どうするかというので政府で検討し、一応65歳以上の人、難病指定や身体障害者の手帳を持ってみえる方は、定期接種の対象になるということで、接種時期は、秋冬ぐらいに1回、定期接種となりました。インフルエンザと同じ形になるということですね。ただ、インフルエンザみたいに、確実に季節性というわけではなくて、コロナの場合夏流行ったりしましたので、いつが良いのかというのが非常に憂慮するところなんです。年に1回打っとけばいいでしょう。一応政府の方針では、毎年秋冬頃に1回接種ということになります。それ以外の方は希望者に全額自己負担で接種可能というふうになっています。

この、定期接種対象者はさっきお話しました65歳以上の方と、60歳から64歳の方で心臓病とか腎臓病、心身体障害者に持ってみえる方、あとはHIVとかの免疫不全がある方ということになっています。定期接種以外の方は、完全自費ということになりますが、市町村によっていろいろやり方が違ってきますので、この辺はきちんと確認をした上で接種に行ってください。

費用、これが一番皆さん気になると思うんですが、自己負担ありの方は、最大で7000円程度にする予定。名古屋市は先日の市の会長会で言っていましたけど、65歳以上の方の中のコロナ禍の方は、ご負担が3500円ぐらいになるかなと思います。インフルエンザは1000円ですので、明らかにコストが高いので任意接種の場合で全額自己負担だと、1万5000円前後ということになります。インフルエンザが高いところで5000円ぐらいだと思っので、かなり高額になります。

しかも、今のようにあまり話題になってないと、皆さん余計に受けないんじゃないかなと思います。一応医師会としては推奨ということになります。偉い先生は、ワクチンはアメリカの陰謀だって言ってみえます。実際にファイザー、今まであんな簡単に治験も何にもなくて、ワクチンが通ることはなかったし、今回などファイザーが臨床実験の結果を70年間公表しないらしいので、それは何かあるんじゃないかっていうふうに言っておられます。

そんな感じで1万5000円ぐらい、原価がひと瓶6万円と元々非常に高いのです。と、いうのは不活化ワクチンじゃなくて今回 mRNA という遺伝子にちょっと操作したような変わった薬なので、副作用もわかりません。というのが本当のところですか。ワクチンの種類はわかりません。何が出てくるかわからないんですが、一応ファイザーとモデルナがまた中心になると思います。そのうち、インフルエンザと同じ不活化ワクチンが出てきますので、それが出てくるとより安全なワクチンになると思います。ただ、より安全ですが不活化ワクチンというのは、効きもそんなに良くありません。今のインフルエンザも、実は一生懸命打っても実際に抗体ができる方は7割ぐらいなので、30%の方は無駄ということなんですが、打たないよりは打った方がいいです。

毎年見直すということで、新型コロナウイルスに感染症にかかった場合の入院や死亡の重症化予防効果が認められたと報告されていますっていう、認められていますじゃなく、報告されているという、そこまでですね。ただいろんな病院の病診連携の会とかで出るとやはりさっきお話した、3回以上注射を打たれた方で、死亡症例は第3波以降ではない。最初のデルタというやつは、かなり亡くなる方がいたのですが、あの頃はまだワクチン打っていない頃だったので、今は3回以上打たれた方で死亡例はいないと思います。この死亡例がないというのは、後遺症がないと言っているわけではないので、接種間隔をどうしましょうということで、一応、今回のインフルエンザと同時に接種可能ですということになりました。なので、同じ日に右左打ったりとか、左左で打ったりとかしていましたが、今後出てくるワクチンの種類によっては、2週間の間隔を空けるようにというふうになるかもしれません。これも未定ということですね。ワクチンを打ちたいが先週までコロナにかかっていたんだけどどうしようという方が結構みえたんですが、これも、医者によって話すことがまちまちです。すぐ打っていいよって人と、退院するときにワクチン打つのは3週間空けてくださいって人と、二つのタイプがあったので、どっちが正しいんでしょうと言われると僕もわかりません。

僕はすぐ打ってもいいのではないかなあとと思いますが、これも明らかなデータが出ていないというのが正直なところです。次に副反応と後遺症とについてですが、副反応は、痛み、疲労、頭痛、なんでも来ます。結局いろんな症状が出るんだけど、これもどれぐらいの広さで来るかとか、どれぐらい続くかとか、それもよくわかっていません。副反応なんて一応熱が出たら消炎鎮痛剤飲むとか、そのぐらいしかないということです。

これも皆さんの考え次第です。インフルエンザもそうですが、コロナのワクチンの副反応とか副作用とかいろいろマスコミで話題になって、大騒ぎになりましたが、インフルエンザは安全かということ、インフルエンザの予防接種も決して安

全ではありません。あれも年間で全国で何百人かくらいは、アナフィラキシーを起こしたりだとか、アナフィラキシーはないけど、一応副反応で重症化したりとか、いろいろ症状が出ている人がいるので、完全に安全なものというのはなくて、ワクチンとかそういうのは、みんなリスクベネフィットでの関係でいきますから、全てのものに関していろいろ副反応となっている可能性はあります。だから、感染した方でも打ってもいいですよってということですね。アナフィラキシー、これは怖いです。あと心筋炎というのは、一応ファイザー社では出ていなくてモデルナの方で出て、それが話題になってしまったので、うちに来る方がどこのやつですかって聞かれることはとても多かったんですが、一応心筋炎心膜炎はモデルナ社だけにしか出ていないかと思っています。

あま市で1件だけアナフィラキシーがあったんですが、あれも本当にアナフィラキシーかどうかよくわからない。ちょっと医者の肩を持つとですね、この方糖尿病のコントロールが非常に悪くて、体重110キロぐらいあった方なんですね。かかりつけのお医者さんへ行って、「ワクチンを打ってください」ってお願いしたら、「いやこれはうちでは危ないんで、大きな病院で打ってください」と言ったのを、わざわざ集団接種に行ってしまったという。集団接種の悪いところは、問診する人と打つ人の医者が別個なんです。そこで多分スルーしちゃって打ってしまったみたいなのがあって、あれは何かあったときにすぐにノルアドを打なかつたのは医者の間違いですが、それ以外のところでは責められないなっていうところもあります。

後遺症、これもいろいろあって咳だとか、息切れ、いろんな症状が全部書いてあり、これはなぜかっていうと、打った後に皆さんが「目が見えなくなったんです。」言ったら、打った後なので、もしかすると関連があるかもしれないってことで因果関係ははっきりしないものも全部後遺症として載せなきゃいけないってなっているので、たくさん書かれています。どこまでが本当になるかはわかりません。

ただ今回の mRNA という未知の領域に突っ込んだワクチンなので、何が起っても不思議ではない。生科学とか生理学とか、いわゆる基礎系の先生に言わせると、製造過程から考えて人体に影響を及ぼすことはあり得ないと言いますが、人間の体ですから何が起こるかかわからないっていうのが正直なところですよ。

会員卓話

森田正樹



皆さんこんにちは、今のコロナ予防接種のお話を伺いまして、私も3回打ちましたが3回目の直後にコロナに罹りまして、4ヶ月効くんじやないのっていう話なんですけど、それ以来

打ってません。第10波と呼ばれるこの間罹りまして、家族全員インフルエンザに罹っていたので、私もインフルエンザだとばかり思い込んで病院へ行ったら、コロナということで僕だけホテルに隔離という不可解な生活をしていました。

今日皆さんにお話したいなというのは、私は一応科学の方のお仕事をしてまして、理屈的には科学を信じてます。でも、人の心の間っていうのは非常に難しく、世の中のものは全て数式で表せるし、物理は全て数式で表せる。科学では最先端を行っているのは医学ですね。自分は医学が、それを最先端を行っているということで最近話題になっている映画で、原爆作っちゃった人の作品がありますよね。あるいは科学者が葛藤するっていう映画が流行っているんですけど、今私読んでいるなかで一番お気に入り「心配事の9割は起こらない」という本です。

これを書かれた作者は、禅宗の宗教学者です。この人が語っているのは何かというと、「手放す。」全ての人が欲望を手放すことができれば人は幸せに生きられる。この持っているもの、持っている人間関係持っているお金も含めてすべて財産を手放すことができれば、人生はとってもハッピーなものになります。持っていて欲望があるからみんな苦しんで生きている。世の中のいろんな問題、戦争もしかり、揉め事もしかりで全てのことはお金、そこにあるんだと。それが全ての世の中を回しているというお話の本なんです。これ読むと、9割は起こらないんですけど、1割は起こるんですね。

それによってみんな病院行ってみたり検査してみたり、いろいろしてるんだと思います。最近一番感じるのは、今60名ぐらいの従業員がいるんですけど、非常に心を病んでいる方が多いということです。これ、仕事で病んでるんじゃなく、家庭事情です。旦那さんの給料が上がらないとか、生活費が苦しいので給与を上げてくれとか、いろんな勝手なこと言ってくるんですけど、みんな何でそんなに病んでいるのかなって言ったら、やはり、みんなと同じになりたい。隣のうちの芝生は青く見えるのと一緒に、隣がいい車を買ったから私も買いたい、いい時計買ってきたから私も欲しい、という欲望ですね。欲望の中で我々は生活している。その欲望を捨てることができれば、とってもハッピーになるよ、この本は教えてくれます。

と、ということで毎日寝る前に読んでいるこの二つの本をご紹介します。科学こそが道を作る、という「さらば神よ」という本は、キリスト教のことを完全に否定してる本なんですけど、これを読むと、全てはやっぱり科学でできてる。神様は何も教えていないですね。助けていない。

それをずっと、伝統的に奇跡という言葉を使ってそういうことを信じ込ませるっていうことなんですね。例で見ると確かに歴史は全部そういうものによって語り継がれたもので、人をまとめてきた。今、国と国とがけんかしているものの、ほとんどの原因が宗教です。

宗教の原点はイスラムもキリストも、ユダヤも、全部発祥は一緒です。聖地が一緒なのは、そこにあるからです。それでもめている。その中には強硬派っていうのがいて、いろんなことをやって、争っている。それは何なんだろう、なんでそうなっちゃうんだろうっていうと、結局、人は、心は、どこかによりどころがないと生きていけないということなんですね。

それって組織、会社という組織であったり、国という組織で

あったり、ロータリークラブもその中の一つ、ですね。なぜ、みんなロータリークラブにいるんだろう。何でもここに参加することに意義があるんだろう。それは、人としての繋がりが欲しいってことなんです。それだけ人というものは1人では生きていけないってことなんですね。家族が欲しい。子供が欲しい。人間とはそういう繋がりを大切にしていかなきゃ生きていけない動物だというのがこの本に書いてあります。ぜひ一度読んでいただいて今後の生活の糧にさせていただきたいなと思います。

仕事等の話をしても多分みんな全然理解できないと思うんですけど、仕事ってなんでやってるのっていうと、これはお金稼ぐためにやってるんですよ。

その中にはお医者様が、お医者様はやっぱり人を助けるという、この仕事で人のためになろうと思って使命感を持ってやっているといると思うんですね。どんな仕事でも、弁護士さんならクライアントを助ける。我々の製造業なら社会の資源を守るためとか、そのために製造する、というね。現に世の中を、生活を便利にするっていう何かの使命感を持ってやっている、そういうグループとか組織とかに入ってやっついていかないといけないと。

そういうのが動物、人間という動物が持っている本性なんだということが書かれています。ぜひとも今後ご購入いただきまして、私が書いたわけじゃないんですけど、非常に面白い本だということ、神様いないと科学こそが道を作るといのは現実ですね。

でもそれでは生きていけないんで、宗教というものが始まる。宗教はそのよりどころになって、でもそれが争いの原因にもなってしまうということで、一体どっちを信じればいいのかという話なんですけど、うまくバランスを取って生きていくのがいいよってことが、二つの非対称の本を読むことでわかりました。

ということで私のお話は、ロータリーもないっていうよりはあった方がいいよっていう話で締めくくりたいと思います。いや、まだ機会がありましたらお話しさせていただきます。ありがとうございます。

米山奨学生オリエンテーション

4月11日に開催されました米山奨学生オリエンテーションでキムジウォンさんとの初顔合わせがありました。



◎出席者（敬称略）

米山カウンセラー	石井 光
米山記念奨学委員長	古川 進
次期幹事	田中如以